

平成25年
1月17日
～19日

重粒子線 物理セミナー

重粒子線治療は、難治性のがんに対し副作用の少ない効果的な治療法として注目を浴びています。群馬大学では、放医研での好成績を受けて、先行施設と同様の治療成績が得られること、さらに効果的な治療法の研究・開発を進めることを目的とし普及型の治療装置を建設しました。今後、さらに新たな重粒子線治療施設が立ち上がり、重粒子線施設の普及が望まれるところです。重粒子線治療に必要な技術は多岐にわたります。重粒子線治療を開発・推進する真の技術者を養成するために、日本の第一線で研究している研究者に必要な要素技術の講義をしていただけるように企画しました。

プログラム

群馬大学 基礎棟小講堂

◆平成25年1月17日(木)

10:00-12:00 **重粒子線治療におけるイオン源・入射器**
山田 聡 氏（群馬大学 重粒子線医学研究センター 客員教授）

14:00-16:00 **ブロードビーム照射法における照射装置の設計**
高田 義久 氏（筑波大学 数理物質系 物理工学域 教授）

16:00-18:00 **粒子線に関するscattering powerおよび拡大ビーム治療計画**
兼松 伸幸 氏（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 治療システム開発室長）

◆平成25年1月18日(金)

10:00-12:00 **重粒子線治療の線量測定**
坂間 誠 氏（日本大学 生産工学部電気電子工学科 医用電子工学 助教）

14:00-16:00 **重粒子線治療におけるシンクロトロン加速器技術**
白井 敏之 氏（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 次世代重粒子治療研究プログラムリーダー）

16:00-18:00 **炭素線scanningの治療計画およびOptimization**
稲庭 拓 氏（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 高精度治療計画システム開発チームリーダー）

◆平成25年1月19日(土)

10:00-12:00 **臨床線量の定義と線質測定について**
金井 達明 氏（群馬大学 重粒子線医科学センター 教授）

14:00-16:00 **重粒子線治療のための生物効果モデル**
松藤 成弘 氏（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 粒子線照射効果解析チームリーダー）

16:00-18:00 **粒子線治療における照射野外線量**
米内 俊祐 氏（放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター 照射システム開発室 主任研究員）

■対象 **がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン「実践型粒子線治療人材養成コース(インテンシブ)」**
博士課程教育リーディングプログラム「重粒子線医工連携コース」
他、多数のご参加をお待ちしております。先着50名 メールにて受付 氏名・所属明記

■お問い合わせ先 群馬大学 重粒子線医学研究センター 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22
TEL: 027-220-8378 FAX: 027-220-8379 猪爪 E-mail: inoino@gunma-u.ac.jp